GE-1 Gravity Engine

ユーザーマニュアル ┆ バージョン 1.0.2

GE-1 Gravity Engine をお選びいただきありがとうございます。
GE-1 は、キックとベースの帯域の衝突を自動的に解消し、ベースに存在感のある低域を与えるプラグインです。「Gravity」ティルト EQ と、キック連動のスペクトラルダッキングを組み合わせ、ワンボタンの LEARN で自動セットアップします。

目次

1. 動作環境とインストール
2. ライセンス認証
3. プラグイン概要
4. 主な機能の使い方
5. サポートとライセンス

1. 動作環境とインストール

項目	内容
OS	Windows 11 以降 / macOS 13 (Ventura) 以降
フォーマット	VST3 (Windows / macOS) / Audio Unit (macOS のみ) / 64-bit
容量	約 20 MB
インターネット	初回サインイン・認証に必要（認証後は 30 日間オフライン使用可）

インストール手順

- ダウンロードしたインストーラー（GE-1_Installer_v1.0.2.exe）をダブルクリックして起動します。
- ライセンス契約（EULA）に同意し、画面の指示に従います。
- インストール後、DAW を再起動してプラグインを再スキャンしてください。VST3 一覧に AIDE AUDIO GE-1 として表示されます。

2. ライセンス認証

GE-1 は、解錠されるまで音声を
バイパス（信号は素通り）し、ロックオーバーレイを表示します。解錠方法は 2 通りです。

方法	内容
サインイン＋無料トライアル	AIDE AUDIO アカウントにサインインし、3 日間の無料トライアルを開始します。
シリアルキー	購入時のシリアルを入力して恒久的に解錠します。

ロゴ右の アカウントアイコン（人型アイコン）をクリックすると、いつでもアカウント画面を開けます（サインイン・トライアル開始・シリアル入力・サインアウト）。

サインインとトライアル

- アカウント画面で Sign in を選ぶと、ブラウザで AIDE AUDIO のサインインページが開きます。

- サインインすると、ブラウザからプラグインへ認証が戻り（ローカルの 127.0.0.1 ポート経由）、画面が更新されます。
- Start trial を選ぶと 3 日間のトライアルが始まります。残り日数は画面右下に表示されます。

シリアル認証

- アカウント画面で、購入時のシリアルキー（例: GE1ABCD12345678）を入力します。
- Unlock をクリックします。成功するとロックオーバーレイが消え、フル信号経路が有効になります。

> 認証に失敗する場合:
> • 「Invalid License Key」→ シリアルの打ち間違い・大文字小文字・0（ゼロ）と O（オー）の混同を確認してください。
> • 「Server Connection Failed」→ インターネット接続を確認し、ファイアウォールで aideaudio.com への HTTPS 通信を許可してください。
> • 「Activation limit reached」→ 上限の 3 台に達しています。アカウントページから未使用の端末を解除してください。
> • エラー時は Send error report ボタンが表示されることがあります（エラーコード・バージョン・OS・DAW 名のみを送信、毎回同意制）。解決しない場合はシリアルを添えて support@aideaudio.com へご連絡ください。

30 日間オフライン猶予

シリアルで認証後は 30 日間オフラインで動作し、その後にオンライン再確認を行います。インターネットが不安定な環境でも安定して使えます。

3. プラグイン概要

GE-1 のウィンドウは 982 × 520 ピクセルです。中央の大きな アナライザ にスペクトラムと EQ／ダックカーブが表示され、その下にノブとトグル、右側にメーターが並びます。

ヘッダーの要素

要素	位置	機能
AIDE AUDIO ロゴ	左上	メーカーロゴ
? ボタン	ロゴの右	フィードバック／バグ報告ダイアログを開く（§ 5 参照）
アカウントアイコン	? の右	アカウント画面を開く（サインイン／トライアル／シリアル／サインアウト）
Track セレクタ	ヘッダー	このインスタンスの役割を選択: Group → Bass / Kick

アナライザ

中央のディスプレイには、入出力スペクトラムに重ねて黄色い EQ／ダックカーブ とシアンの Pivot ドットが表示されます。縦軸の目盛りは 2 種類です。

- 左目盛り – EQ ゲイン（+12 〜 -12 dB）: 黄色いカーブはこちらで読みます。「-4 dB」の線まで落ち込んでいれば、その周波数で 4 dB のカットです。
- 右目盛り – レベル（0 〜 -90 dBFS）: スペクトラム表示のレベルです。

ノブ

ノブ	役割
GRAVITY	EQ の傾き（低域の重み）。範囲 -50 … +50
PIVOT	傾きの中心となる周波数（20 - 500 Hz）
SLOPE	シェルフの急峻さ
HPF	ハイパス（サブカット）。カットオフ可変（最大 100 Hz）、LEARN で 30 Hz に設定
GAIN	入力ゲイン
OUTPUT	出力レベル（-24 … +24 dB）
THRESH	サイドチェイン・ダッキングの閾値（-60 … 0 dB）
RATIO	サイドチェイン・ダッキングのレシオ。キックが THRESH を 1 dB 超えるごとに削る dB 量（1 … 10）

GRAVITY / PIVOT / SLOPE / GAIN / THRESH / RATIO は LEARN（§ 4 参照）が自動設定します。あとから微調整も可能です。

トグル

トグル	機能
LEARN	ベースを解析し、プラグインを自動設定
SIDE CHAIN	キック連動のスペクトラルダッキングを有効化
AUTO GAIN	音色を変えても出力レベルを一定に保つ
HPF	ハイパスフィルターの ON/OFF

メーター

- OUT – 出力レベル。ダッキングによる GR（ゲインリダクション）量も表示。
- SC – ダッキングを駆動するサイドチェイン（キック）レベル。

4. 主な機能の使い方

4.1 LEARN（自動セットアップ）

LEARN は GE-1 の中核です。Bass トラック側で操作します。

- LEARN ボタンをクリックします。解析中はリングがアニメーションします。
- 数秒間、普通にベースを弾きます（音域を広く弾くと最も正確になります）。
- 完了すると、GE-1 はあなたのベース音色に合わせて PIVOT / GRAVITY / SLOPE / GAIN を設定し、HPF（30 Hz）と AUTO GAIN を有効化します。キックがあれば SIDE CHAIN を ON にして THRESH / RATIO を自動調整し、位相アラインも自動判定します。

学習結果は DAW プロジェクトに保存されるため、開き直したときの再学習は不要です。ベースや弾き方を変えたら LEARN をやり直してください。

4.2 Gravity EQ

GRAVITY は PIVOT 周波数を境に低域と高域のバランスを傾け、ベースに重みと輪郭を与えます。SLOPE はシェルフの急峻さを調整します。正の値は低域を抑え高域を持ち上げ、負の値は低域の重みを加えます。

4.3 Side Chain（スペクトラルダッキング）

SIDE CHAIN を ON にすると、GE-1 はベースを キックの形状 に沿って彫り込みます。キックがエネルギーを持つ帯域だけを、しかもベースが実際にその帯域にエネルギーを持つ場合にのみ削るため、低域がポンピングせずにキックの居場所を空けます。

- THRESH はダッキングが始まるキックの大きさ、RATIO はコンプレッサーのレシオと同じで「キックが THRESH を 1 dB 超えるごとに何 dB 削るか」を決めます。リリースは自動で、各バンドが自身の周期に合わせて回復します（高域側で約 10 ms、最低域で約 65 ms）。
- キック入力には 2 つの経路があります: (1) DAW ネイティブ・サイドチェイン – キックを GE-1 のサイドチェイン入力にルーティング。(2) 2 インスタンス連携 – § 4.5 参照。

4.4 AUTO GAIN と HPF

- AUTO GAIN は音色を変えても体感の出力レベルを一定に保つので、GRAVITY/PIVOT をいじってもベースの音量が変わりません。
- HPF は低域のサブ／唸りを取り除くハイパスフィルターです。カットオフ周波数は HPF ノブで調整でき（最大 100 Hz）、LEARN では 30 Hz に自動設定されます。

4.5 キック ↔ ベース連携（2 インスタンス）

GE-1 はペアで使うと最も効果的です。Bass トラックと Kick トラックに 1 つずつ挿し、ベースがキックを避けてダッキングするよう連携させます。

- ベーストラックに GE-1 を挿し、Track セレクタを Group 1 → Bass にします。
- キックトラックに GE-1 を挿し、Track セレクタを Group 1 → Kick にします。
- 同じ Group 番号 なので、キック側インスタンスがクリーンなスペクトラムをベース側へ自動的に共有します（ルーティング不要）。
- ベース側インスタンスで LEARN を押すと、キック検出時に SIDE CHAIN が自動で有効になります。
- 1 つのプロジェクトで最大 4 ペア（Group 1 ～ 4）を使えます（レイヤーしたキックや複数のベースパートなど）。

> 単一インスタンスが好みの場合は、DAW ネイティブ・サイドチェイン（§ 4.3）を使ってください。キックを GE-1 のサイドチェイン入力に送り、SIDE CHAIN を手動で ON にします。

5. サポートとライセンス

フィードバック／バグ報告

GE-1 ウィンドウ左上（AIDE AUDIO ロゴの右）の？ ボタンをクリックすると、フィードバックダイアログが開きます。

- カテゴリ: 機能要望／バグ報告／その他
- メッセージ: 自由記述
- 一緒に送信される情報: プラグインバージョン（GE-1 v1.0.2）、OS 名、DAW 名。
- サインイン中は報告がアカウントのメールに紐付きます（未サインイン時は匿名）。音声やプロジェクトのデータは一切送信しません。

公式サイト

AIDE AUDIO: https://aideaudio.com/

- マイページ（ライセンス管理／端末の追加・削除）
- 最新版のダウンロード
- その他の製品（BC-1 Bass Compressor / BO-1 Bass Octaver / TP-1 Tone Purifier / VS-1 Versa Synth）

ライセンスについて

本プラグインの再配布・共有は禁止されています。
ライセンス管理やプラグインに関する問題は、AIDE AUDIO
のユーザーダッシュボードまたはサポートページ（https://aideaudio.com/support）をご利用ください。

エンドユーザー使用許諾契約（EULA）はインストーラーで表示されます。主な条項は次のとおりです。

- 1 つのシリアルで最大 3 台までインストール可能
- 認証時に匿名のハードウェア情報とシリアルを送信
- 再配布・リバースエンジニアリングの禁止
- デジタル製品につき返金不可